



写真拡大

埋設している場所に注意喚起と共に、具体的に施工写真を掲示することで、何気ない地盤面をよりリアルに埋設構造物の『見える化』を図った。



タイロッドアンカー

山留タイロッドアンカーの施工時の写真を掲示し、埋設している深さ、構造物が理解できるようにした。



前頁同様に、工事エリア内に一部共同溝が配置されており、万が一接触すると周辺インフラに多大な影響を及ぼすため、これについても実際の構造物の写真をその場所に掲示することにより、リアルに『見える化』を図り、注意喚起したものである。



拡大写真-1 この突き当りが当現場 地下6m付近



拡大写真-2 敷地と並行にガス、電気、水道等のインフラが設置されていることが一目で理解できる